

# わたなべただひろ

発行者 渡邊惟大

〒260-8722千葉県中央区千葉港1番1号  
千葉県議会 日本維新の会・無所属の会 控室

TEL 080-4668-1168

E-mail Watanabe.tadahiro.chiba@gmail.com

※市政に対するご意見をお寄せください



ご挨拶

あいさつ

こんにちは、中央区選出の千葉県議会議員、**わたなべただひろ**です。  
中央区の皆様を選んでいただき、令和5年5月より任期がはじまりました。令和5年臨時会、第2回定例会が無事終了し、おかげさまで、順調なスタートとなりました。皆様のご理解やご支援、本当にありがとうございます。千葉県議会初の車椅子議員ということで、千葉テレビ、千葉日報、朝日新聞などのメディアでも紹介されました。介助者の同行の許可や机の工夫などによって問題なく公務はできています。所属委員会は保健消防委員会・広報委員会となり、福祉事業所への支援、新病院建設、防災ヘリの更新などの審議に関わり、市民の福祉医療向上、市の予算の有効活用のため、ご意見をお伝えしました。皆さまからの声が政治を動かす原動力です。今後とも一層のご指導を宜しくお願い致します。

## 議会報告会を開催しました!



7月15日(土)午前10時30分から、千葉市中央コミュニティセンターで、初の議会報告会を開催しました。当日は、千葉県議会初の車椅子市議として議会事務局はじめ市職員さんや他議員さんのご理解・ご協力、大きな問題なく活動ができていたこと、議会で驚いた謎ルールが存在、初めての一般質問や5月の臨時会で審議された内容、今後私が特に力を注ぎたい議会内での活動等についてご説明しました、また、参加者の皆さまからのご意見も伺い、非常に有意義な時間を共有することができました。ありがとうございました。今後も定期的に続けたいと考えておりますし、その他様々な手段で、中央区の皆様への日々の活動報告をお届けして参ります。

## 委員会報告

本年度は**保健消防委員会・広報委員会**への所属が決まりました。開催された保健消防委員会の審議の中で、市民目線に立った時に必要と考える次の事項の提案やお願いを実行しました。

### 保健福祉局には

<議案第62号> 令和5年度千葉市一般会計補正予算(第3号)中所管の高齢・障害事業所等に対する物価高騰対策支援事業について、申請率を上げるよう事業所向けにマニュアル作成をする等した上、**申請手続きの簡素化や役所業務の効率化のため、電子手続きを検討すべきであると指摘**しました。

<議案第66号> **千葉県環境保健研究所条例の一部改正につきましては、千葉県環境保健研究所の役割について市ホームページ上での説明の充実などを提案**しました。



### 病院局には

<議案第63号> 令和5年度千葉市病院事業会計補正予算(第1号)につきましては、**工期延長によるさらなる予算の増大などを防ぐ努力**をお願いしました。



### 消防局には

<議案第68号> 消防防災ヘリコプターに係る財産の取得につきましては、海外での消防防災ヘリとしての実績や**国内での複数の報道機関への導入実績があるものの、国内での公的機関での導入実績は、山口県消防防災ヘリコプターのみであるとのことで、より一層の点検強化を図り、事故予防の徹底を要請**しました。



## わたなべただひろ プロフィール

- 1987年3月生まれ(現在36歳)
- 筋ジストロフィー・デュシェンヌ型
- 10歳から歩行困難で、14歳から電動車椅子使用
- 幼小中高を習志野市・千葉市の普通校で過ごす
- 2002~2005年 千葉県立幕張総合高校
- 2005年 早稲田大学社会科学部入学

- 2009年4月~2011年9月 早稲田大学大学院・政治学研究科修士課程修了
- 2012~13年 日本福祉教育専門学校で社会福祉士取得
- NPO法人ユニバーサル・アクセス・デザインングの設立
- 2014年7月 アクセシビリティデザイン訪問介護事業所設立
- 2023年4月 千葉県議会議員選挙に日本維新の会公認で初当選



Facebook

## 介護人材確保について

わたなべの質問	市として介護人材確保のためにどのような取り組みをされているか伺いました。
市の答弁	処遇改善について国に要望、介護ロボット・ICT導入支援事業などの実施、多様な人材の確保・育成に向け、合同就職説明会や研修受講費用の助成や介護未経験者向けの入門的研修などを実施している。研修受講費用の助成については、昨年度予想を上回る申請があった。
わたなべの提案	国への処遇改善の要望を引き続きお願いしました。また、介助リフトの導入支援も提案しました。研修受講費用の助成については、市の他事業の見直しにより、優先することを提案しました。



## 千葉市重度障害者等就労支援特別事業について

わたなべの質問	当事業の目的、利用実績、今後の課題を伺いました。
市の答弁	これまでに、2名の方から相談を受け、申請に向けた調整中で、複雑でわかりづらい制度となっている現状が課題である。
わたなべの提案	新制度を利用して働くことを望むお二人の勇氣に応え、引き続きサポートするようお願いしました。公務員等が利用できないことについて、公平性の観点から見直しを国へ要望するよう提案しました。



## 中央区のバリアフリー状況について

わたなべの質問	京成大森台駅と京成新千葉駅におけるバリアフリー化の取組状況、中央区内の歩道のバリアフリー化についての進捗状況を伺いました。
市の答弁	京成電鉄と両駅のバリアフリー化に向けた協議を継続している、歩道のバリアフリー化については、千葉都心地区、JR蘇我地区、JR浜野地区、市立青葉病院周辺地区の4地区の段差解消が82%完了との答弁がありました。
わたなべの提案	京成両駅におけるバリアフリー化について、日常生活に制限が出ている障害者や高齢者の方も大勢いらっしゃることを改めて伝え、1日も早い実現をお願いしました。また、歩道のバリアフリー化について、残りの18%についても早期完了をお願いし、歩道の拡幅などの実施も要請しました。



## X Games Chibaについて

わたなべの質問	今年5月にZOZOマリスタジアムで開催されたアクションスポーツの国際大会「X Games Chiba 2023」について、千葉市がパートナーシップを組み負担金を支出しました。負担金の効果についての検証も必要であると考え、市が負担金を出した目的と昨年度と本年度の実績、開催によるプロモーション効果と経済効果について質問しました。
市の答弁	市の負担金は「都市ブランド力の向上」「アクションスポーツの振興」「経済波及効果の拡大」を目的とし、2億円を支出した。120億円相当の広告効果があったと報告を受けているが、経済効果については算出されていない。
わたなべの提案	市が負担金2億円を支出したことについて、大きな金額であるので経済効果についても金額を示すべきであることを指摘し、来年度も千葉市で実施が決まった場合、負担金を検討するようであれば、経済効果の検証もした上での判断をするよう伝えました。



## 幕張ビーチ花火フェスタについて

わたなべの質問	市民向けイベント実施の際、障害者や高齢者の方を含むあらゆる方が公平に楽しめる環境づくりがされることが望ましいことを伝え、本年の花火大会には車椅子用の席は用意されているのか伺いました。
市の答弁	ZOZOマリスタジアムの他、砂浜を除くエリアで車椅子に対応できるスペースを設け、JFAや湯楽の里の協力も得て、計68席を確保しているとの回答がありました。
実現 わたなべの提案	車椅子でもタイヤが砂に埋まらず砂浜に入れるビーチマットを敷くことで、砂浜に車椅子席を作ること提案しました。車椅子の方、高齢者の方、ベビーカーの乗ったお子様も一緒に皆で同じ砂浜の上で同じ花火を楽しめる花火大会を実施すれば、千葉市の魅力をさらに高められると訴えました。市は、花火フェスタ当日、車椅子利用者のモニター協力のもと、砂浜に車いす用の観覧席を設置できるかどうか検証しました。私も開始直前に現地視察しました！砂浜への車椅子席設置は全国初の取り組みです。千葉テレビ等でも報道されました。

